

インターネットを安全に使うため、知っておきたいこと

インターネットには、様々な特性やサービスがあります。自分や周囲の人を守るために知っておきましょう。



①世界中に公開されます

インターネットへ載せた文章や写真は世界中に公開されます。「親しい友だちだけだから…」と思っても、誰かが転送すれば世界中に公開されてしまいます。

②一度載せると取り消すことはできません

インターネット上に一度載せた文章や写真は取り消すことができないことが多く、必ずどこかに記録が残ります。名前を書かない場合でも、将来の自分にとって、マイナスになってしまうこともあります。

③情報をそのまま信用してはいけません

インターネット上には誰でも情報を載せることができるので、信用できない情報も多く、情報を取得するときには正しい内容かどうかを確認する必要があります。

④相手のことを考えながら通信しましょう

インターネットでのやりとりは文字が中心になるため、思いが相手に伝わりにくく、誤解が生じる場合もあります。また相手にも事情があり、すぐに返信できないこともあるということを承知しておきましょう。

⑤夢中になってやめられなくなるサービスがあります

インターネットのサービスの中には、夢中になるサービスがたくさんあります。使い始めるとなかなかやめられなくなり、依存になる可能性もありますので、使う時間を決めましょう。

知らないうちにプライベートな情報が…

Aさんは、無料でインターネットに接続できる場所を見つけました。自分の家では電波が不安定なので、よくそこに行ってインターネットに接続をしていました。



その場所(Wi-Fiスポット〔無線LANアクセスポイント〕)は、通信内容を盗むために悪意で設置されたもので、Aさんは気づかぬうちに誰かわからない人に通信内容を見られていました。

考えてみよう

- 誰が設置したかわからないアクセスポイントには、注意が必要です。
- Wi-Fiにつながるときに設定画面に表示される鍵マークは、これから使うWi-Fiネットワークが安全であることを示しています。



動画の違法なアップロード

Bさんは、話題の映画のデータが手に入ったので、友人とシェアしようと思い、動画共有サイトに投稿しました。



警察が投稿者をBさんと特定。他にも動画や映画をたくさん公開していたBさんは、著作権法違反容疑で書類送検されました。

考えてみよう

- 「歌ってみた」「踊ってみた」などで使用するカラオケ曲には関係者の権利があるため、歌っている動画を許可なくアップロードした場合、権利侵害になることがあります。
- SNSで自分のプロフィール欄に有名人の写真を利用する、友人の写真や動画を許可なく掲載することは肖像権の侵害になります。

